

射水 更生 保護



発行編集 射水保護司会 会長 豊田 博保

TEL 0766-95-5020
〒939-0351

射水市戸破4200番地11
救急薬品市民交流プラザ2F
更生保護サポートセンター射水

第75回「社会を明るくする運動」市作品コンテスト 優秀作品3部門 31名を表彰

- 作文 491点
- 応募総数1,391点
- ポスター 339点
- 標語 561点



市作品コンテスト表彰式

令和7年11月22日救急薬品市民交流プラザ三階会議室で、射水市作品コンテスト優秀作品の表彰式を行いました。入賞者ひとりひとりに夏野元志市長より表彰状が贈られました。

このコンテストは、「社会を明るくする運動」の一環として市内の小・中学生の皆さんが犯罪や非行のない地域社会づくりのために考える機会となることを目指しています。



受賞者のみなさん



毎年優秀作品の作品集を刊行しています



受賞おめでとうございます！

「富山県更生保護フェア in射水」を終えて

2年余りに亘り、準備を進めてきた標記フェアを7月26日に射水市高周波文化ホールで開催しました。

当日は、県内各地から更生保護関係者や地元住民の皆様約500名に参加していただきました。

初めに、「新湊放生津小学校まつつんサークル」のメンバーが、放生津八幡宮祭の「曳山囃子」を披露しました。地元住民の熱心な指導で身につけた笛や太鼓、鉦の技を遺憾なく発揮し、多種多様な曲を見事に披露し、会場から盛大な拍手をいただきました。

続いて行われた開会式では、最初に杉本郁子富山保護観察所長が開会のことば、続いて、新田八朗富山県知事代理、式庄寿人県理事・厚生部次長の挨拶、夏野元志射水市長の歓迎のことばと続きました。

記念講演は、射水市出身のテノールオペラ歌手の澤武紀行氏が自身の経験から、「音楽を人生の伴侶として」と題して講演と歌を披露されました。

歌が好きだった母親の影響を受け、音楽が大好きな少年に育っていききました。しかし、通っていた学校では受け入れられず、つらい日々を過ごしていました。

そんな時、ある先生から、「君の音楽への情熱は、そのままがいい。堂々と



自分のやりたいことをしなさい。」と声を掛けられました。もし、あの一言がなかったら、今の私は存在していなかったかもしれないと述べられました。

その後、音楽の道に進み渡欧しました。しかし、順風満帆だったわけではなく、体格的なハンデ、民族的な差別等々、多くの悩みがあったそうです。その時に支えとなったのがあの「一言」でした。自らの経験を通して、「一言」をかけられる人間でありたいと、思い続けてきました。今、その「一言」を届けられる存在になれたかどうかはわかりません。けれども、天から授かった「声」という贈り物を通して、人々の心に温もりを届けたい。それが、今の私の使命だと信じていますと結ばれました。伸びやかな歌声と熱い語り大きな拍手が送られました。

県外研修

研修・保護観察部長 瀧内一雄

一年おきに行っている一泊研修は9月24日、栃木県さくら市にある喜連川社会復帰促進センターへ行って来ました。

この刑務所は東日本で唯一の国と民間事業者が官民協働で施設を運営する

特殊な刑務所で、犯罪傾向の進んでいない受刑者1,820名、うち女性受刑者49名が社会復帰に取り組んでいる施設です。全国で唯一男女合同の職業訓練が行われており、私たちが参観した際は専門業者指導のもとエアコン掃除の実習訓練が行なわれていました。その他、情報処理技術科、調理科、介護福祉科など時代に合った職業訓練が行なわれていました。施設はとても綺麗で合理的に作られており、外観はリゾート施設のようにとても刑務所とは思えませんでした。東日本で唯一の特殊な刑務所ということで予約がとても困難で、9月を希望したところ刑務所の都合で24日しか空いておらず、約8時間を要しての遠距離でしたが更生保護に携われるものしか立ち入ることができない刑務所を参観し、参加者同士の一層の交流を深めることができ、あらためて保護司になって良かったと思えたひとときでした。



▲県外研修

令和7年度 受章者紹介

◎中部地方更生保護委員会 委員長表彰

池松 光春 河畑富美子
高田 大介 林 美貴子
平野 洋子

◎中部地方保護司連盟会長表彰

志村 慧雲 高橋 久和
瀧田 孝吉

◎富山保護観察所長表彰

笹本 清 杉浦 敬美
高橋 和美 西島 剛
野手 正隆

◎富山保護観察所長感謝状

高木 秋生 永森 直人
松長ますみ 安田久実代
(家族功労) 豊田 孝子

◎富山県保護司会連合会長表彰

亀田 重幸 紺谷 彦之
塚本 秀樹

保護司の異動(敬称略)

◆新任

手崎 光康

◆退任

河畑富美子 佐伯日登美
林 美貴子 廣瀬 秀昭

謹んでお悔やみ申し上げます

◎前射水保護司会会長 名誉保護司

谷川 義昭

◎名誉保護司

朝木 唯明

更生保護サポートセンター射水

〒939-0351射水市戸破4200番地11 救急薬品市民交流プラザ2階

TEL:0766(95)5020 FAX:0766(95)5021

imizuhogoshikai@gmail.com

ホームページURL

http://hogosi.com

月曜日から金曜日
(9:30~15:30)



※保護司が交代で常駐しています。

射水市更生保護女性会だより

8/19

映画『ミックスモダン』上映会

8月19日、保護司会と更生保護女性会の合同研修会で、「ミックスモダン」の映画を鑑賞しました。

親に見捨てられ孤独の中で生きてきた少年が、子どもを授からない身元引受人の夫婦と出会い、お互いを信じるという絆の中で、少年が生きる意味を見つけていく物語。監督自身が保護司として活動しながら、自らの体験を生かし、演出、俳優としても出演されて、更生支援の現実や困難をリアルに描かれています。

「反省は一人でもできるが、更生は一人ではできない」という言葉に感銘を受け、寛容で支え合える温かい地域社会を築いていくことが大切だと思います。



▲上映会の様子



▲映画「ミックスモダン」

9/4

施設視察研修会

特定非営利活動法人「むげん」

「むげん」は、門田晋理事長の障がいがあっても年老いても住み慣れた地域で当たり前に安全に暮らしてほしいとの願いから14年前に設立されました。施設内見学では、野菜・ハーブ園での栽培や収穫、ドライ製品作りについて、就労支援事業所では、紙や繊維製品の加工やギフト商品の包装の様子を、2階の地域交流施設では、地域の小学生を対象に放課後や長期休暇時の居場所作りも始めたとの説明を受けました。



▲「むげん」にて

地域との連携を積極的に勧め、障がい者も地域住民も集える温かい雰囲気施設見学は、1時間の見学があつという間に過ぎて、急いでバスに乗り込み次の場所へ出発しました。

富山少年鑑別支所

その建物は、コンクリート塀の上に鉄条網を貼り巡らした中にありました。始めに所長さんより鑑別所の役割について話を聞いた後、施設内を案内してもらいました。「少年犯罪は減少し、現在の入所者は2名です。」と聞き安堵しました。少年達はここで、医学、心理学、教育学、社会学の側面から鑑別を受け、立ち直れるよう、様々な教育

9/28

養得園給食活動

を受けると共に、教官や職員、家族の支援を受けながら生活します。1日も早く社会人としての一歩を踏み出して欲しいと願いながら帰路につきました。



訪問が入っていると聞かされ、作っているとところもお見せするようにとの事でとても緊張して迎えました。養得園の実態説明の席では、「更生保護女性会会員は園生の方々が毎回



9月28日新湊B地区(作道・片口・堀岡・海老江・本江・七美)の六名で行ってきました。メニューは、①チキンカツ生野菜添え②ポテトサラダ③煮物(がんとむらび人参・こんにゃく・干しシイタケ)④冬瓜そばろ煮⑤味噌汁(すり身・豆腐・えのきだけワカメ・ネギ)⑥果物です。九月末になっても暑い日々で食中毒を心配しながら、ご飯と味噌汁を除いたメニューの担当を決め各々作って行きました。当日は知事の視察

12/11

防災研修会

とても楽しみに待っているとお聞きしていることでやりがいを持って楽しく活動し、絆を深める一如にもなっていること」をお伝えしました。知事との記念写真も撮って頂きました。得難き充実した一日でした。

射水市消防本部の石丸正人氏の講演は、仕事を通して消防士として自信と誇りを強くしてきた姿を、私生活も交えながらユーモアたっぷりに話され親しみを持って聴きました。

東日本大震災について、災害発生後現地に赴き、目にした悲惨な災害現場の様子を、地震発生から15年が経過し、今日初めて人前で話しますと前置きし、一人でも多くの生存者を救いたいと寒さと空腹に襲われながら現場を歩き回った体験は驚愕な状況で、私達の心に強烈に伝わりました。

そして、石丸氏の体験を聴き地震の怖さを改めて痛感する時間となりました。その後、女性消防団の方々と一緒に丈夫でコンパクトな簡易トイレづくりをし、実際に腰かけ、水と凝固剤を使い処理方法などを体験しました。



参加者一同今できることのことを思いを新たにしたい研修会になりました。

令和7年度 活動記録から

6/3

中学生生活体験発表大会



「社会を明るくする運動」 首相・知事メッセージ伝達式



7/2

7/21

海王丸パークで街宣活動

犯罪や非行を阻止し、再出発を見守り、支える社会に



社会を明るくする運動

射水市実務委員会・射水保護司会

保護司カフェ



▲法務省
「保護司になるには」



薬物乱用防止教室

保護司ってどんなことをしているの？

●保護観察

犯罪や非行をした人の立ち直りを助けます。

●環境調整

刑務所や少年院に収容されている人が、釈放後にスムーズに社会復帰ができるよう受け入れ態勢を整えます。

●犯罪予防活動

犯罪や非行を未然に防ぐために地域社会に働きかけ、理解や協力を求めます。

保護司は、専門家である保護観察官と協力し、犯罪や非行をした人たちの相談に乗り生活のサポートをしたり、地域で犯罪や非行を未然に防ぐための活動を行っています。



お問い合わせは
お近くの



法務省
保護局



法務省
YouTube



「射水更生保護」は
射水保護司会の広報誌です。
バックナンバーは